

県内における茶関係資料

1 本県茶生産の特徴

- ・丹沢や箱根山麓一帯の気候・風土がお茶の生産に適し、良質な茶を生産できることから、県西、県央地域の中山間地を中心に、味と香りの「足柄茶」として県民に親しまれている。中井町、開成町、愛川町等で機械化栽培が可能な平坦地を中心に、新たな産地も育成された。
- ・「足柄茶」は、県「**かながわブランド**」に登録されているほか、平成18年に食品産業センターの地域食品ブランド制度「**本場の本物**※」の認定を受け、平成19年には県内農産物で初めて地域団体商標に登録された。また「**かながわの名産100選**」にも選ばれている。



※その土地土地において伝統的に培われた「本場」の製法で、地域特有の食材などの厳選原料を用いて「本物」の味をつくり続ける製造者の【原料】と【製法】へのこだわりの証となる、地域食品ブランドの表示基準。

2 株式会社神奈川県農協茶業センター

- ・県内の荒茶工場で作られた荒茶を集荷し、仕上げ加工して、統一ブランド名「足柄茶」で販売して、生産者の安定経営に寄与している。

【茶業センターの年間荒茶取扱量】

| 年 度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|--------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 取扱量(t) | 124 | 129 | 101 | 86 | 83 | 73 |

3 足柄茶100周年記念事業

- ・関東大震災の産業復興策として大正14年に山北町清水地区で栽培が始まった足柄茶は、令和7年度で栽培開始から100周年を迎える。
- ・足柄茶100周年を記念し、今後の更なる発展を図ることを目的とし、今年度、記念誌の発行や記念式典、販売促進、PRイベントなど各種記念事業を予定している。
- ・「足柄茶100周年記念大使」には、県PRキャラクターかながわキンタロウが就任。
- ・足柄茶100周年記念商品として(株)神奈川県農協茶業センターから「足柄茶100周年記念デザインリシール缶」「箱根山麓紅茶湘南ゴールドティー」「箱根山麓紅茶湘南ゴールドティー」等が発売されている。



100周年記念リシール缶



箱根山麓紅茶

湘南ゴールドティー
(ティーバッグ)



箱根山麓紅茶

湘南潮彩レモンティー
(ティーバッグ)



100周年記念
ロゴマーク